



今年も残り1か月となりました。この1年間を振り返ると、子どもたちの成長がとても頼もしく感じます。

本格的な冬を迎え、インフルエンザを始めとする感染症には警戒をしなければいけない季節となりました。

今年も新型コロナウイルス対策もありますので、引き続き子どもたちの健康管理・安全対策に取り組んでいきたいと思ひます。

## 今月のねらい



- ・保育者とかかわりを深めながら、健康にのびのびと生活できるようにする。
- ・冬の空気を感じたり自然物に触れたりして楽しむ。

つくし



- ・子どもの思いを受け止めていくなかで、自分でしようとする気持ちをもてるようにする。
- ・冬の自然に興味をもち、見たりふれたりしながら戸外あそびをする。

れんげ



- ・身の回りのことを意欲的に行い達成感を味わう。
- ・冬の自然に触れ、興味を持って関わろうとする。
- ・友だちと関わりながらごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。

たんぽぽ



- 【3歳児】・身近な自然の変化に気づき冬の訪れを感じる。・あそびや生活の中で必要な決まりを知り、友だちとあそぶ楽しさを味わう。

にじ

- 【4歳児】・身近な自然の変化を通して、冬の自然に興味や関心をもつ。



- ・友だちと考えを伝え合いながら、一緒にあそびを進める楽しさを味わう。

ほし

- 【5歳児】・身近な自然事象などに興味を持って調べたり考えたりし、理解を深める。

- ・友だちの考えを取り入れ、あそびを発展させていく楽しさを味わう。

## 遊びの学びは無量大!

幼児の発達には毎日の「遊び」が欠かせません。大人から見ると子どもはただ遊んでいるだけに見えるかもしれませんが、しかし、子どもは遊びのなかから、生きていくうえで大切なことを獲得していくのです。それは遊ぶことによって、幼児は頭を使い、思考する力、記憶する力、コミュニケーション能力など、多くの力となるからです。幼児にとっての遊びは心身の成長には欠かせない、食事や睡眠、排泄などと同じくらい重要なものなのです。

幼児が心身を発達させるために、遊びは必要不可欠であり、子どもは年齢や脳の発達に合わせて、鬼ごっこ、かくれんぼ、ままごとや遊具などさまざまな遊びを取り入れていきます。そのなかで怪我をしたり、傷ついたりして、次に失敗しないために一生懸命考え、行動し、解決策を見出します。この経験こそが幼児の脳を育てるのに何よりも重要なのです。「遊び込む経験」(集中・没頭)を多くする方が、子どもの「学びに向かう力」は高いのです。

保育者が一緒にあそんだり、認めたり、励ましたりしていく中で、より「質のいい遊び」が展開できるよう、サポートしていきたいと思ひます。



## 行事予定



| 月                  | 火                   | 水                  | 木                    | 金                 | 土  |
|--------------------|---------------------|--------------------|----------------------|-------------------|--|
|                    |                     | 1                  | 2                    | 3                 | 4  |
| 6                  | 7<br>おもちつき<br>お弁当日  | 8<br>たんぽぽ組<br>身体測定 | 9                    | 10<br>ほし組<br>身体測定 | 11   |
| 13<br>れんげ組<br>身体測定 | 14                  | 15<br>つくし組<br>身体測定 | 16<br>歯科検診<br>10:00~ | 17<br>避難訓練        | 18   |
| 20<br>にじ組<br>身体測定  | 21<br>クリスマス<br>誕生会  | 22                 | 23                   | 24                | 25<br>第4土曜日(15:00)<br>1号認定冬休み<br>(12/27~1/6) |
| 27                 | 28<br>御用納め<br>15:00 | 29<br>年末の休日        | 30<br>年末の休日          | 31<br>年末の休日       |  |

※年明けは1/4(火)から保育を行います。